

平成28年度及び平成29年度の各推進主体の取組状況等について

各委員のアンケート結果より

| | 平成28年度の取組状況 | 平成29年度の事業計画等 |
|--------------------|---|--|
| 全国健康保険協会 東京支部 | <p>[独自実施]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康企業宣言の取り組みを継続実施、3月17日現在STEP1に取り組む企業は122社、健康優良企業銀の認定は10社、STEP2に取り組む企業は2社 ○健康優良企業銀の認定企業のうち、経済産業省の健康経営優良法人制度(中小規模法人部門)の認定を受けた企業は6社 ○糖尿病未治療者に対する受診勧奨、CKD(慢性腎臓病)重症化予防通知、糖尿病性腎症重症化予防事業 <p>[他団体との連携]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京商工会議所「健康経営アドバイザーセミナー(研修)」複数回 | ○健康企業宣言運動の継続実施と宣言企業を増やすために企業向けセミナーの実施 |
| 東京商工会議所 | <ul style="list-style-type: none"> ○健康経営アドバイザー研修(初級) 全国で7,000名以上が受講 ○健康企業宣言東京推進協議会への参加 ○感染症対応力向上プロジェクトの実施(東京都・東京都医師会との共催) ○オフィスdeエクササイズの実施(東京都との共催) | <ul style="list-style-type: none"> ○健康経営アドバイザー研修(初級)の実施 ○感染症対応力向上プロジェクトの実施 ○健康づくりに関するセミナーの開催 ○健康経営認知度調査の実施 |
| 東京法人会連合会 | <ul style="list-style-type: none"> ○福祉保健局の協力を得て健康関連情報を当会ホームページに掲載するほか、49法人会へ提供。 ○「ちょっと実行、ずっと健康」ポスターの作成配布(1,100枚)。 ○ポスターをA4版に縮小したチラシ(裏面に、福祉保健局「とうきょう健康ステーション」生活習慣改善の広報を掲載)を作成(25,000枚)し、東京都内約2万社の新設企業に対して法人会の公益広報DMIに同封して送付(9月末)。 ○同DMIは今年(3月末)に2回目を実施。 ○健康関連の資料を会議や研修会などで配布したほか、信用金庫主催「よい仕事おこしフェア2016」(国際フォーラムで8月2・3日開催)で配布。 | ODMIは次年度も継続する予定。福祉保健局に協力いただき同封するチラシについて工夫したい。 |
| 東京都 中小企業団体中央会 | ○TOKYO WAKING MAP のポスター配布、配架、本会ホームページでのリンク掲載 | ○健康経営に関連したテーマを意識した講習会の企画に取り組みたい。 |
| 東京労働局 | <p>[第1回職域部会後に実施した取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ストレスチェック制度について周知を図るための説明会を開催(10/7、10/27、2/24)。 <p>[今年度の実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○メンタルヘルス対策及び化学物質による健康障害防止を最重点に取り組んだ。特にメンタルヘルス対策については、ストレスチェック制度について周知を図るための説明会を開催した。 ○「事業場における治療と職業生活支援のためのガイドライン」を周知した。 ○「Safe Work TOKYO 産業保健フォーラム IN TOKYO 2016 ころも体も健康第一～みんなで取り組む健康職場～」を平成28年10月13日(木)10時30分～16時、会場タワーホール船堀(江戸川区船堀4-1-1)で開催した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○メンタルヘルス対策(パワハラ対策を含む)及び化学物質による健康障害防止を重点に取り組む。 ○産業保健フォーラムの開催。(10月26日ティアラこうとう) |
| 東京産業保健 総合支援センター | <p>産業医、衛生管理者および人事労務担当者等向けの産業保健に関する研修 145回延べ8000人受講(4～12月まで)</p> <p>同上 に対する産業保健に関する相談 3569件(同上)</p> <p>メンタルヘルス(ストレスチェック制度を含む)に関する事業場訪問支援 440件(同上)</p> <p>産業保健に関するメールマガジンの配信 延べ119375件(同上)</p> <p>ホームページアクセス件数 延べ206815件(同上)</p> | がん治療と職業生活の両立支援サービスの周知・利用促進 |
| 新宿区 | <ul style="list-style-type: none"> ○新宿区働く人のメンタルヘルスネットワーク連絡会:H28年6月7日、12月8日開催 うつ病当事者が病気をもちながらも就労継続することができるよう支援すると共に、関係機関同士の連携を深めることを目的として平成23年度から年2回開催している。 メンバー:地域産業保健センター、ハローワーク、勤労者・仕事支援センター、精神障害者就労移行支援・継続支援事業所、中小企業、地域の精神科クリニック、中部総合精神保健福祉センター、保健センターから出席 内容:「うつ病の方のために関係機関が利用できる就労・復職支援施設一覧」を毎年度作成・配布。 職域におけるメンタルヘルス対策として、就労や復職に対する区・都等の動きなどの情報の共有。区内就労支援機関の紹介や社会資源等の情報交換。事例検討等とおして支援力の向上を図る。講演会の開催 ○講演会:①「うつ病の理解と周囲の対応について」(平成28年6月14日開催 47名参加) ②「快眠のコツ～睡眠でころも体もスッキリ～」(平成28年7月27日開催 49名参加) 商工会や地産保等を通してPR ○働く世代向けストレスマネジメント講座:「働く場と自分メンテナンス」(2日制) ①「産業医に聞く 働く場のメンタルヘルス」(平成28年11月14日 22名参加) ②「こちよいコミュニケーション術」(平成28年11月17日 26名参加) ○新宿集団給食施設協議会との連携 区内27施設が加入しており、平成13年から連携・支援している。毎年6月の総会と2月の新年会に保健所長・担当課長・栄養士が参加し講話を実施しているほか、27年度より、区内集団給食施設栄養士情報交換会を共同で実施している。 | <ul style="list-style-type: none"> ○「働く世代向けストレスマネジメント講座」については、区内中小企業関連団体と連携して実施予定。 ○集団給食施設協議会については例年どおりの予定。 |
| 多摩市 | ○本市では、健康都市づくりを市のまちづくりの方針と定め、全庁を挙げて取り組みを展開しています。その中で、多摩センター駅・永山駅付近と聖蹟桜ヶ丘駅付近をウォーキングしてもらうための地図作りを進めています。5月にイベントを開きお披露目をする予定です。市内5ヶ所に体組成計と血圧計を設置し、ご自身の健康状態を把握してもらい、健康増進を進めています。 | ○市民経済部経済観光課では、市内の歩車分離している遊歩道の総延長が約4.1kmあることを活用し、市内の観光スポットなどを紹介しながら、市民の方に地域を歩いてもらい健康づくりに役立ててもらうためのマップを2万部作成し配布する予定です。 |
| 日の出町 | — | — |